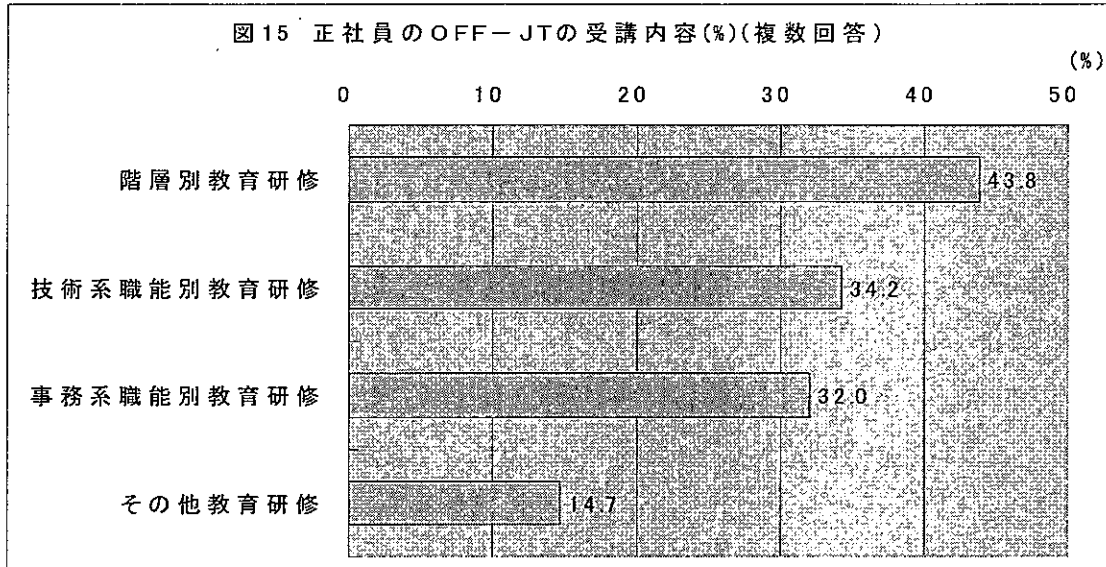


2 従業員調査

(1) OFF-JTの受講状況

① 正社員のOFF-JTの受講内容(図15)

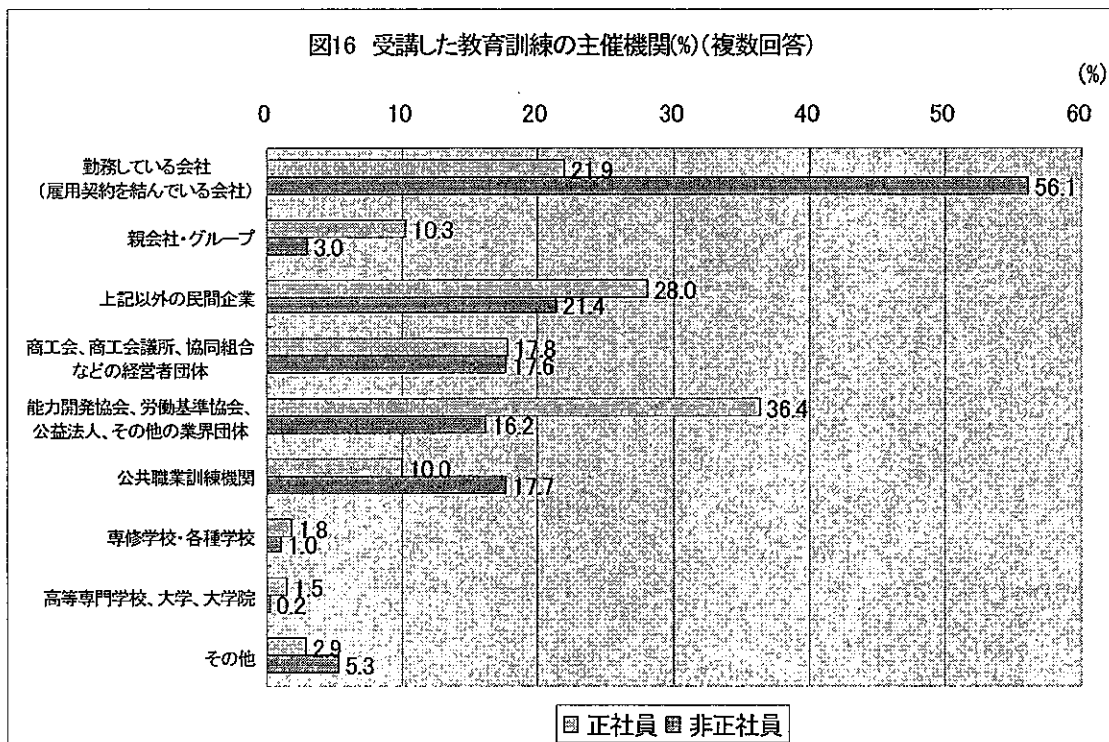
平成16年の1年間に、正社員が「OFF-JT」を受講した内容は、「階層別教育研修」では43.8%であり、「職能別教育研修」では、技術系で34.2%、事務系で32.0%であり、ほぼ同じ割合であった。



② OFF-JTの受講形態(図16)

OFF-JTを受講した者について、受講した教育訓練の主催者をみると(複数回答)、正社員においては、「能力開発協会、労働基準協会、公益法人、その他の業界団体」が36.4%と最も高く、次いで「民間企業」の28.0%であった。

一方、非正社員においては、「勤務している会社(雇用契約を結んでいる会社)」が56.1%と最も多く、次いで「民間企業」の21.4%であり、受講形態は正社員と異なっている。

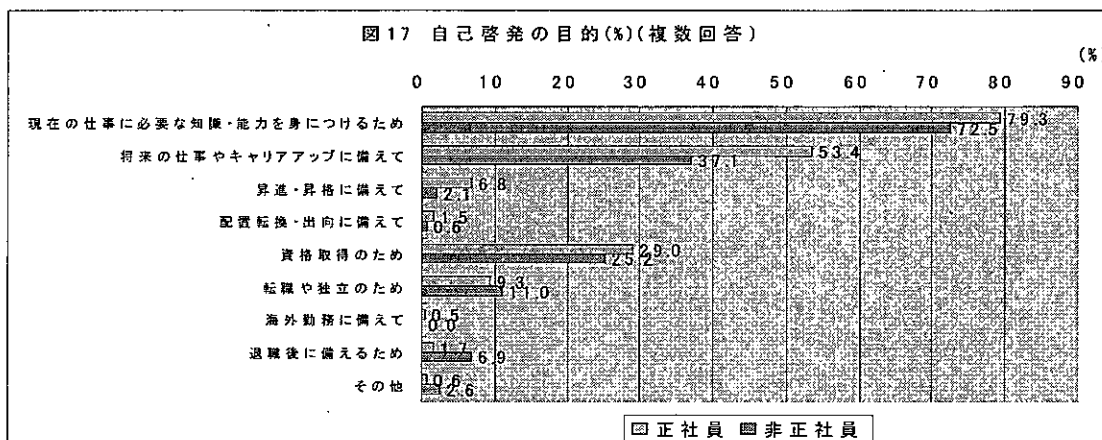


(2) 自己啓発の実施状況

① 自己啓発の目的 (図17)

過去1年間に自己啓発を行った者について自己啓発の目的をみると(複数回答)、正社員においては、「現在の仕事に必要な知識・能力を身につけるため」をあげた者の割合が79.3%と最も高く、次いで「将来の仕事やキャリアアップに備えて」の53.4%、「資格取得のため」の29.0%となっている。

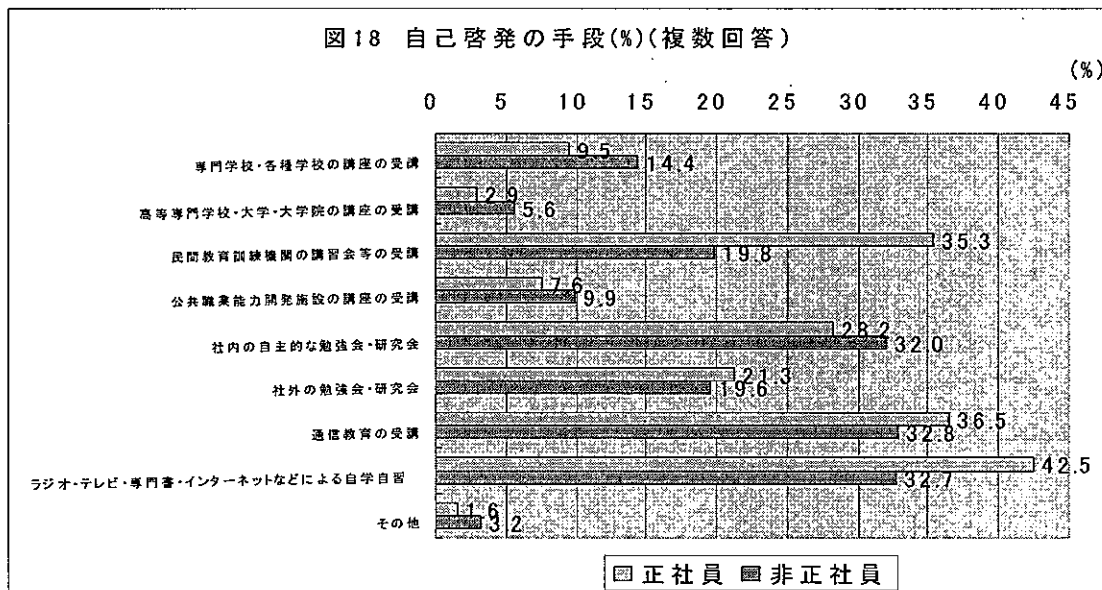
一方、非正社員においては、「現在の仕事に必要な知識・能力を身につけるため」をあげた者の割合が72.5%と最も高く、次いで「将来の仕事やキャリアアップに備えて」の37.1%、「資格取得のため」の25.2%となっており、正社員と同じ傾向を示しているが、「将来の仕事やキャリアアップに備えて」は正社員と比べ低く、この点で異なりが見られる。



② 自己啓発の実施形態 (図18)

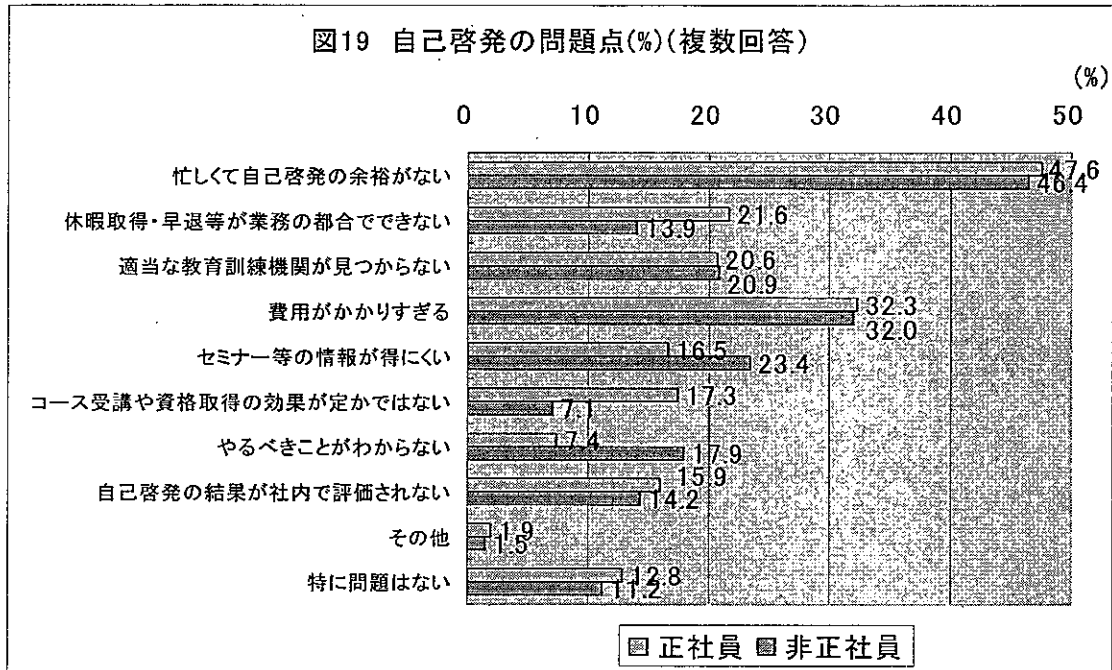
過去1年間に自己啓発を行った者について、どのような自己啓発を行ったかについてみると(複数回答)、正社員においては、「ラジオ・テレビ・専門書・パソコン通信等による自学自習」を行った者の割合が42.5%と最も高く、次いで「通信教育の受講」の36.5%、「民間教育訓練機関の講習会等の受講」の35.3%と続いている。

一方、非正社員においては、正社員同様、「ラジオ・テレビ・専門書・パソコン通信等による自学自習」の32.7%、「通信教育の受講」の32.8%と割合が高かったが、「民間教育訓練機関の講習会等の受講」は19.8%と正社員に比べ低く、また、「専門学校・各種学校の講座の受講」は14.4%と正社員に比べ高く、この点で異なりが見られる。



③ 自己啓発の問題 (図19)

どのような自己啓発の問題を感じたかについてみると (複数回答)、正社員・非正社員とも同じ傾向を示し、「忙しくて自己啓発の余裕がない」割合が約47%と最も高く、次いで「費用がかかりすぎる」の約32%と続いている。



(3) これからの職業生活の設計 (図20)

これからの職業生活の設計についての考え方をみると、正社員においては、「自分でキャリアパスを考えていくべきである」または「どちらかという自分でキャリアパスを考えていくべきである」と考える者の割合が77.4%であった。

一方、非正社員においては、「自分でキャリアパスを考えていくべきである」または「どちらかといえば自分でキャリアパスを考えていくべきである」と考える者の割合は53.6%であり、また、「わからない」とするものが29.9%おり、これからの職業生活設計についての考え方は、正社員と非正社員で異なっている。

